

研究課題名	未治療切除不能進行・再発胃癌に対するマイクロサテライト不安定性を評価する観察研究 (WJOG13320GPS)
研究の意義・目的	胃癌に対する免疫チェックポイント阻害薬のバイオマーカー（効果の指標）として、MSI status（マイクロサテライト不安定性）が最も有望と考えられています。MSI status を治療早期に測定することで、初回治療から抗 PD-1 抗体薬（キートルーダ）を投与することで利益を得られる患者が増えることが期待されます。本研究の目的は、切除不能再発胃癌における MSI-High の頻度を明らかにし、臨床病理学的特徴を明らかにすることです。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2023 年 3 月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2020 年 8 月～2022 年 3 月に大阪市立大学医学部附属病院の消化器内科で、胃癌の診断または治療のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。  試料：【血液、胃癌の腫瘍組織】 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、CT 画像】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関大分大学腫瘍内科に頂いた試料・情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	試験依頼者：特定非営利活動法人 西日本がん研究機構 West Japan Oncology Group (WJOG) 理事長 中川和彦 研究代表者：大分大学医学部 腫瘍血液内科 廣中秀一 <a href="https://upload.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr_view.cgi?recptno=R000046055">https://upload.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr_view.cgi?recptno=R000046055</a>
試料・情報を管理する責任者	研究代表者：大分大学医学部 腫瘍血液内科 廣中秀一 研究事務局：大分大学医学部附属病院 腫瘍血液内科 小森梓
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究は、ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社より研究資金の提供を受け WJOG が実施しています。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 (担当者氏名) 平良 高一 電話番号：(06) 6645-3811 メールアドレス：koichit@med.osaka-cu.ac.jp